

「コイン形電池」「ボタン形電池」はキケン! 子供にさわらせないようご注意を!

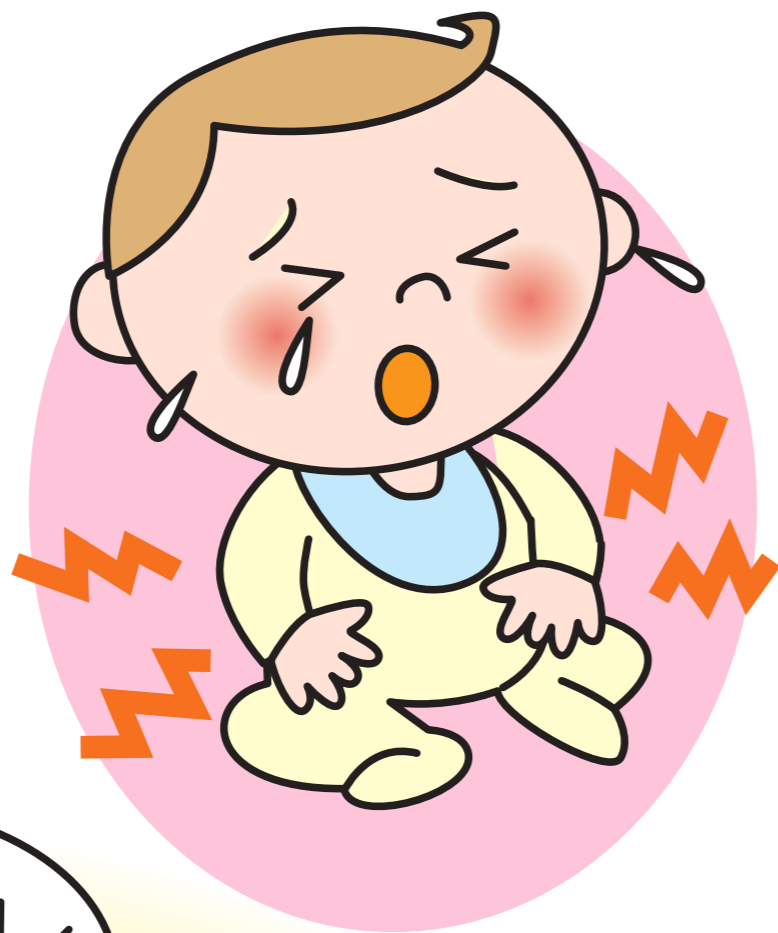


コイン形電池、ボタン形電池の誤飲事故が多く発生しています!



被害状況の再現(鶏肉にコイン形リチウム電池を接触させた30分後の様子)

特にコイン形リチウム電池は放電能力が高いため、短時間で消化器内で化学反応を起こします。また、直径が大きく食道に留まる可能性が高いため、誤飲すると死亡事故(※)につながる恐れがあります!



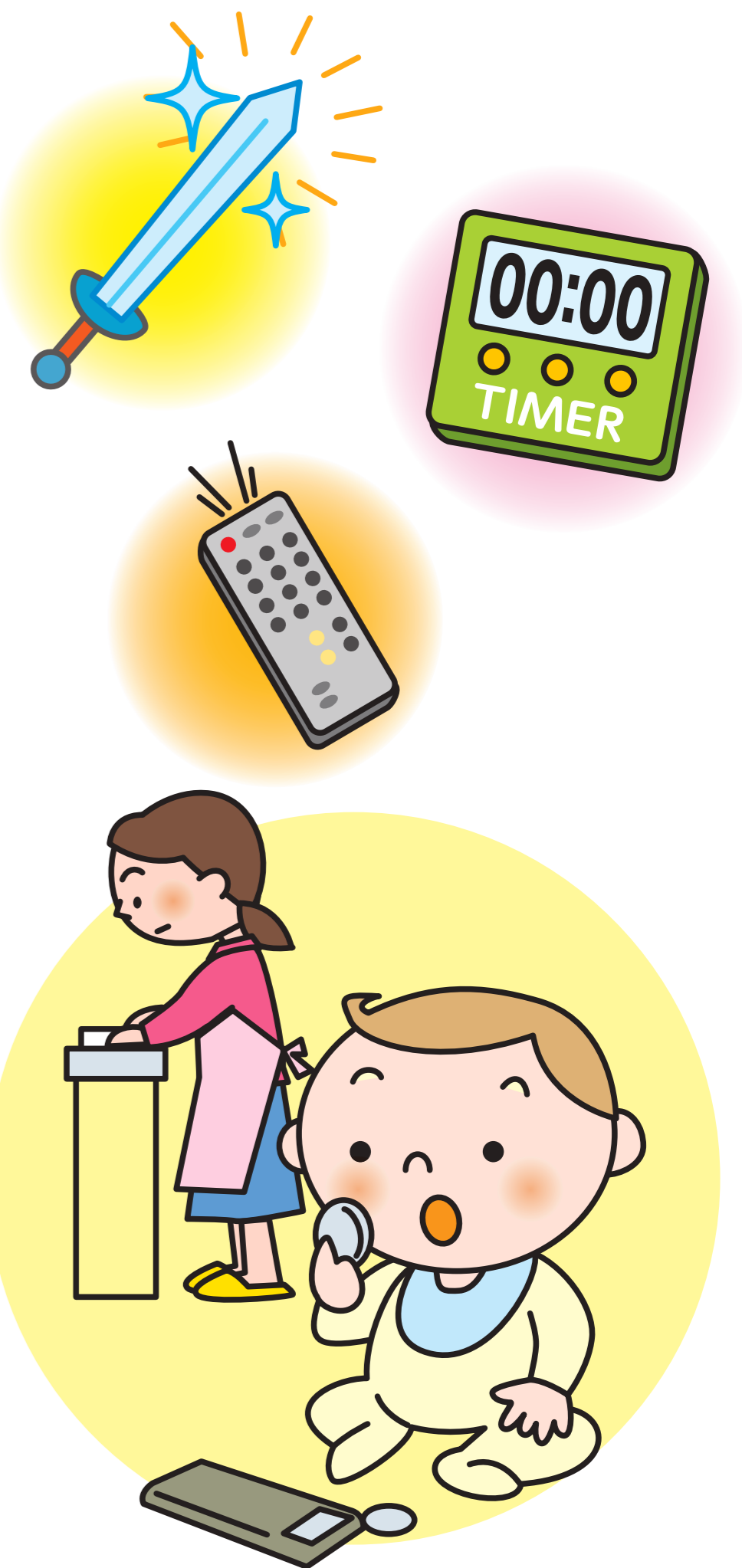
誤飲によってこんな重症事故が発生しています!!

- ・気管と食道に孔が開き、2か月入院。
- ・内視鏡で電池を摘出。食道の腐食が激しく27日間入院。
- ・鼻の穴に電池を詰めてしまい出血。親が気付いて受診。

※海外では死亡事故も発生しています。

コイン形電池、ボタン形電池は、こんな製品に使われています!

- ・テレビやエアコン等のリモコン
- ・光や音が出るおもちゃ、絵本
- ・キッチンタイマー、電卓
- ・デジタル体温計 ……など



こんなときに誤飲事故が起きています!

- ・子供では開けられないと思っていたパッケージから電池を取り出していた。
- ・リモコンを子供がいじっているうちに、電池収納部のふたが外れた。
- ・おもちゃの電池を交換をするとき、うっかり放置して目を離した。…など

子供を事故から守るため、すぐに始めましょう!

保管するとき

電池は、鍵のかかる引き出しや子供の手が届かない場所でパッケージに入れたまま保管する。

電池交換するとき

子供から見えるところで電池交換をしない。また、電池交換時に短時間放置する「ちょい置き」も絶対にしない。

商品を購入・使用するとき

電池使用製品を購入する際には、電池収納部が子供でも簡単に開けられたり、落下などの衝撃により電池が飛び出すような構造になっていないことなどを確認し、安全対策が施された商品を選択する。

おもちゃを購入する際には、ST マーク適用製品など、安全に配慮されたものを選択する。また、電池が容易に取り出せるおもちゃは選択しない。電池収納部が壊れたおもちゃは、修理や買い替えるなどし、子供に触らせない。等

万一、コイン形電池・ボタン形電池を飲み込んだ場合、また誤飲が疑われる場合は、直ちに医師の診察を受けましょう!!